

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	総合進学	選択形態	必修	科目	国語表現	単位	3
学習目標	<p>・語彙を豊富にすることによって、思考能力を伸ばしながら言語感覚を磨き、表現する能力を身に付ける。</p> <p>・文章の構造を知り、論理的に読めることで、論理的に書ける・話せるようになることを理解する。</p> <p>・伝え合う力を高めるとともに、自らの気持ちを的確に表現することによって、円滑なコミュニケーションを取れるようになる。</p>								
使用教科書	国語表現(大修館)	副教材	論理エンジンシリーズ・朝日新聞時事ワークシート			予定時間数	105		
単元と内容									
1学期	オリエンテーション								
	・表現の基礎		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい文章とはどういうものかを知る。 ・分かりやすい文章を書くためには、論理を意識していくことを学ぶ。 ・論理的な文を、きちんと理解できるようにする。 ・論理的な文章を書くための基礎(一文の構造や接続語)を学ぶ。 ・分かりにくい文章の欠点を直し、意味の通る文章を書けるようにする。 ・表現技法と効果について学ぶ。 ・表現と論理を意識した文章を書く姿勢を身に付ける。 ・日常会話について考え、コミュニケーション能力の向上を図る。 						
2学期	・表現の実践		<ul style="list-style-type: none"> ・多くの文章に触れ、論理力の向上をさせる。 						
			<ul style="list-style-type: none"> ・時事的な文章を読み、時事ニュースに関する基礎知識を習得する。 ・時事問題に関して自分の考えを持つ。 ・時事的な問題を使用し、小論文を書けるようにする。 ・進路に必要な志望理由の材料をまとめ始める。 						
3学期	・表現の探究		<ul style="list-style-type: none"> ・より分かりやすい表現とは何かを考えさせる。 ・書くだけでなく、筋道立てて話ができるようにさせる。 						
評価									
評価の観点			評価の趣旨				評価対象		
							1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能		表現と理解に役立てるため、漢字・語句・表現技法などの知識を身に付けている。				○	○	○
②	思考力・判断力・表現力		論理的に文章を読み取り、自分の考えをまとめたり深めたりしている。筋道立てて話したり、的確に聞いたりしている。				○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度		表現に対する関心を深め、自ら表現するとともに伝え合おうとする。				○	○	○
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力				③ 主体的に学びに向かう態度		
	定期考査	60%	定期考査 60%				口頭試問 50%		
	レポート	10%	口頭試問 20%				各種発表・まとめ 50%		
	相互評価	10%	各種発表・まとめ 20%						
	各種提出	20%							

令和6年度(2024年度)年間授業計画表

学年	2	コース	総合進学	選択形態	必修	科目	論理国語	単位	4
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊富にすることによって、思考能力を伸ばしながら言語感覚を磨き、様々な文章を読解できるようにする。 ・様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯に渡って読書に親しむ態度を身に付ける。 ・国語力の向上を目指し、希望進路実現のための役に立てるのみならず、社会生活の充実を図る態度を育てる。 								
使用教科書	論理国語(数研出版)	副教材	論理エンジンシリーズ			予定時間数	140		
単元と内容									
1学期	オリエンテーション								
	評論文	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の流れを掴み、論理的な文章である評論文の基礎的な読解方法を身に付けさせる。 ・筆者の論理的な思考を学び、自身の考えを深めるきっかけとする。 							
2学期	評論文	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の流れを掴み、論理的な文章である評論文の基礎的な読解力を身に付けさせる。 ・筆者の論理的な思考を学び、自身の考えを深めるきっかけとする。 ・作品のテーマを的確に捉えて、自身の問題として置き換えられる考え方を養わせる。 ・プリントなどを利用し、文章の読解と設問の解法を学ぶ。 							
	読解演習	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と自身の意見を対応させながら読解する訓練をする。 							
3学期									
評価									
評価の観点		評価の趣旨				評価対象			
						1学期末	2学期末	学年末	
①	知識・技能	表現と理解に役立てるため、漢字・語句・表現技法などの知識を身に付けている。				○	○	○	
②	思考力・判断力・表現力	論理的に文章を読み取り、自分の考えをまとめたり深めたりしている。筋道立てて話したり、的確に聞いたりしている。				○	○	○	
③	主体的に学びに向かう態度	表現に対する関心を深め、自ら表現するとともに伝え合おうとする。				○	○	○	
評価方法	① 知識・技能		② 思考力・判断力・表現力			③ 主体的に学びに向かう態度			
	定期考査	60%	定期考査	60%		口頭試問 50%			
	レポート	10%	口頭試問	20%		各種発表・まとめ 50%			
	相互評価	10%	各種発表・まとめ 20%						
	各種提出	20%							